

## 令和元年度第3回府中市障害者等地域自立支援協議会会議録

■日 時：令和2年1月31日（金）午後2時

■場 所：府中市役所北庁舎3階 第2会議室

■出席者：(敬称略)

<委員>

河井文、桑田利重、鈴木卓郎、高橋美佳、原郷史、犬飼知子、玉上博康、  
松林宏、栗山恵久子、野村忠良、吉井康之、古寺久仁子、松田豊、  
椛島剛之、田村智久

<事務局>

障害者福祉課長、障害者福祉課長補佐

障害者福祉課援護担当主査、障害者福祉課事務職員（3名）

■傍聴者：あり（3名）

■議 事：

1. 前回会議録の確認について 【資料1】
2. 報告事項  
  - (1) 相談・くらしの部会からの最終報告 【資料2】
  - (2) 就労支援部会からの最終報告 【資料3】
3. その他

■資 料：

【事前配付資料】

資料1 令和元年度第2回府中市障害者等地域自立支援協議会会議録（案）

資料2 相談・くらしの部会最終報告

資料3 就労支援部会最終報告

【当日配付資料】

席次表

会議次第

## 議事

### ■事務局

本日お揃いの委員の皆様、今年初めての自立支援協議会になりますが、どうぞよろしくお願いいいたします。本日の委員の皆様の出席状況になりますが、18名中現在13名、定足数を満たしておりますので、始めさせていただきます。司会をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいいたします。なお本日の会議ですが、おおむね2時間程度を予定しております。本日、鹿内委員、塚本委員、山科委員から事前にご欠席との連絡をいただいております。まず、お手元の資料の確認をお願いします。

(資料の確認)

会に入る前に事務局から一言、報告がございます。よろしくお願いいいたします。

### ■事務局

日頃は協議会につきまして、協力ありがとうございます。本日は会に先立ちまして、昨年答申等いただきました件でのご報告です。1点目、基幹相談支援センターについてです。明日2月1日号の広報に基幹相談支援センターの嘱託職員の募集の記事が載ります。事務局としましては基幹相談支援センターに向けて、まずは人の手配から進めさせていただきたいと思っております。続きまして児童発達支援センターの関係ですけれども、基本計画(案)を作成いたしました。来年度に向けて一步一步進めさせていただきたいと思っておりますので、お願いいいたします。3点目、就労支援の強化に向けても順次進めさせていただければと思っております。ただ限りある予算ということではなかなか障害者福祉課の要求だけ通るということではないので、ここにいらっしゃる家族会の方々とか、関係委託事業者の方々にはなかなか要望通り行かない項目も多々あるのですけれども、進めて行きたいと思っておりますので叶わないところもありますが、理解いただきまして、またいろいろなご意見いただければと思っております。よろしくお願いいいたします。改めまして予算が確定しまして報告出来る内容につきましては、次回の自立支援協議会の中でご報告させていただきたいと思っております。よろしくお願いいいたします。

### ■事務局

それでは本題に入らせていただきますが、本日は傍聴希望の方が3名いらっしゃいます。こちらの傍聴人の承認とこれからの進行を会長にお願いしたいと思っております。それではよろしくお願いいいたします。

■会長

改めまして、こんにちは。お忙しい中出席いただきましてありがとうございます。早速会議を始めさせていただきますが、はじめにご紹介があったように傍聴希望の方が3名いらっしゃいますので、会議公開規則に従いまして傍聴を許可するため、皆様の承認をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(委員より承認、傍聴人入室)

■会長

それでは早速始めたいと思います。議事に入ります。

1. 前回会議録の確認について

■会長

始めに「前回会議録の確認について」です。事務局から資料1について、説明をお願いいたします。

■事務局

資料1について、説明いたします。令和元年度第2回全体会の会議録(案)でございます。内容については記載の通りでこの内容でよろしければ通常通り、会議録の公開の手続きを予定しております。ご確認をよろしくお願いいたします。以上です。

■会長

ありがとうございます。こちらの資料につきまして事前に配布されておりますので、委員の皆様は確認いただいていると思いますが、何か修正等ありましたら伺いますが、いかがでしょうか。

(発言者なし)

■会長

よろしいですか。それではこの議事録で公開の手続きに入らせていただきたいと思っております。ありがとうございました。

## 2. 報告事項

### ■会長

続きまして議題の2、報告事項になります。

#### (1) 相談・くらしの部会からの最終報告

### ■会長

始めに(1)相談・くらしの部会からの今年度の最終報告ということになります。部会長からお願いします。

### ■委員

皆さんこんにちは。それでは資料2に沿いまして相談・くらしの部会の今年度の最終報告をさせていただきます。資料2をご覧ください。相談・くらしの部会の委員はこちらの12名で今年度はやらせてもらっていました。現状についてですが、今年度に関しましては、前年度までは相談支援部会だったものを相談・くらしの部会と名前を変えて、検討内容としては地域生活支援拠点等というものについて、府中の中でどう整理していくかということを中心に話し合いを行っています。地域生活支援拠点等については第5期の障害福祉計画、ここに書いてありますように平成30年度～32年度、ですから令和2年度末までの3か年間の障害福祉計画の中で、各市区町村に少なくとも1か所整備ということが明記されているわけですが、府中ではまだ整備が進んでいないものになります。相談支援部会という相談・くらしの部会の前身の昨年度までの部会では基幹相談支援センターの設置についてのとりまとめをして答申を出しましたけれども、その基幹相談支援センターの機能も踏まえつつ、更にそこで検討しきれなかった様々な機能について、この地域生活支援拠点等というものの中でどうやって進めていくかということ今年度考えてきたというのが部会の取り組みになります。検討のテーマとしましては府中市において市民の方々が様々な障害の種類や程度に関わらず、安心して地域で暮らしを送れるような支援体制をどう作るかということになるのですが、その支援体制の拠点になるようなものをどのようなふうにイメージし、どのような機能を持たせると良いのかということが、今回の私たちの相談・くらしの部会の検討のテーマということになります。次に今年度の部会としての取り組みの経過を説明させていただきます。年度最終報告になりますが、年度の上半期の取り組みにつきましては既に第2回の全体会の方で報告させてもらっていますのでそちらを参照していただければと思います。今回は下半期の部会の取り組みをお話させていただきます。まず部会を3回開催し

ましたが、その他に9月24日には八王子市の視察に行きまして、八王子市での地域生活支援拠点等の取り組みについて部会と事務局で視察・聞き取りを行ってきました。まずその内容を簡単に報告したいのですが、八王子市は平成27年度から地域生活支援拠点等の取り組みを既に始めていらっしゃるということで多摩地区の中では非常に早くから実施をされていた自治体です。平成27年10月に国が地域生活支援拠点等のモデル事業を示した時に手を挙げられて、モデル事業から始められました。その後半年間モデル事業をやって、平成28年4月からは八王子市の事業として本格実施をしているということでした。八王子市は人口が50万人以上いてかなり面積も広い市ですが、そういった地域特性を鑑みて1か所に拠点を集中させるのではなく面的整備という形で、市内の相談支援事業所5か所が地域生活支援拠点になるということで指定をして、そこに年間の予算を付けて事業の展開に取り組んでいるということをお話していました。また拠点の事業に取り組んでいる5か所の相談支援事業所は障害福祉のサービスとか、既存の福祉制度の狭間にあるような人たちにも支援を届けていくということを目指していることや、八王子市の地域特性ですが、精神科の病院が非常に多い地域ですので、そういった病院の長期入院からの退院支援のサポートやピアサポーターの方たちが活動することにも協力していくことに力を入れているということでした。市内に5か所拠点が振り分けられていますがその5か所は地区分けとか、障害の種別分けというふうにはされていなくて、それぞれ得意な分野なんかはありながら基本的には全市をカバーして、5か所でやっているということでした。地域生活支援拠点のいくつかの機能の中で重視されている、一極取り上げられるものに緊急時の受け入れや対応、あるいは体験宿泊といったようなことが挙げられるのですが、この八王子市の事業は5か所の拠点事業所が実際に支援を提供しているわけですが、その支援の対象となっている人は平成30年度では74人いらっしゃるということ。つまり八王子市がこの74人を対象に地域生活支援拠点の事業でやるようなサポートを実施しているということです。ある意味ではやる方を限定しているということで、市民の方に幅広く、こういう拠点がありますので、誰でもいつでもそこにアクセス出来るという形ではやっていない。本当に必要な人を拠点事業の対象というふうにして、現在5か所で74人の方の支援を実施しているということをお話してきました。ですので、緊急対応に関しても完全に市民の方にオープンな24時間の体制ということでやっているわけではなくて、対象となっている方に関しては緊急対応が極力出来るようなサポートを作っている、その人の支援体制を築いているということです。それが八王子市での視察会の説明になりますが、そういった八王子市での視察やその前に厚生労働省の方を呼んでの勉強会というものを府中市でもやったのですが、そうしたことを踏まえてこの部会の中では府中の中で拠点の事業を考えるのに、何

の機能が必要なのかを考える前に府中市において今、地域課題としてどんなことが一番取り組まなくてはいけないものなのか、府中市の地域特性から考えられる地域課題ということをきちんと抽出するというをもっとやらなくてはいけないだろうということが部会の中で確認されました。そこでそれをやるには部会の委員だけで課題を出し合うというのは限界があるのもっと幅広く、市内の障害者、家族、事業所の方達の意見を聞く必要があるだろうということで、そういった場所をどういうふうに設けるかということを下半期の部会3回の中では検討してきました。その結果、今年の2月12日に地域生活拠点等を考える意見交換会を開催することになりました。実はこういった意見交換会は昨年6月にも実施しておりますが、それは前回の答申に対する意見をいただくような会だったのですが、今回は改めて今、私達がまさに検討している地域生活拠点等というものテーマにして、様々な市内の障害当事者、家族、団体の方などにお声掛けをさせて頂きました。実際に全ての方が出席をしていただくことになると40名以上の方にお越しいただくようなものになりますが、そういった意見交換会を2月に部会として実施することになりました。そこで様々に参加した方々から地域生活拠点等、つまりその拠点等の機能のことというよりは実際に参加する皆さんが府中で暮らしていて、あるいは支援をしていて、どんなことがこの地域の課題なのかということのご意見を沢山言っていて、当日はグループワークをやりたいと思っているのですが、そこで出た意見を更に部会の中で抽出して行って、その意見を基盤にして、実際に地域生活拠点の機能を府中市ではこんなことを優先的にやる必要があるだろうというものを次年度以降に更に整理していきたいというふうに考えております。今年度に関しては2月の意見交換会を実施して、その後もしかしたら3月にもう1回部会がやれるかもしれませんが、意見交換会の内容を精査するということまでが部会としての取り組みということになるかと思えます。あとは会議の内容と取り組みの状況としては配布資料をご覧くださいと思います。私の方からこれで部会の最終報告を終わらせていただきます。

■会長

ありがとうございました。ただ今相談・くらしの部会の報告を頂戴いたしました。皆様からご質問をまず受けたいと思いますが、いかがでしょうか。

(発言者なし)

■会長

よろしいですか。ご意見等ある方、よろしいですか。わりと今まで自立支援協議会

は専門部会のところでオブザーバーに来ていただいて、いろいろと意見を伺うということはやっていたのですが、今年度になりましてこういった懇談会といった形なるべく幅広く、いろいろな方達の意見を伺っていろいろな課題や進むべき方向性などを検討したいということで少しやり方が変わってきております。その流れを受けて今回も2月12日に懇談会を開催するという予定にしておりますが、この時には委員の皆様は極力、出席いただきたいということを事務局の方からお願いしておりますけれども元々この自立支援協議会の委員の皆様はいろんなバックグラウンドをお持ちの方に委員を委嘱しております。それぞれ皆様が日々業務をされていく中で地域課題として持っておられるものをぜひこの機会に出していただいて、じゃあ今何を府中市としてはしなければいけないのか、これからどういったことに取り組まなくてはいけないかということをお客様で情報共有し、方向付けをしていきたいということで実施していくものになります。こういった取り組み方についてももしも意見があれば伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。

(発言者なし)

■会長

よろしいですか。それでは相談・くらしの部会におかれましては引き続き、よろしくお願いいたします。

(2) 就労支援部会からの最終報告

■会長

続きまして、(2) 就労支援部会からの今年度の最終報告を部会長からお願いいたします。

■委員

昨年度は就労支援センターが足りないというものを、具体的に数を出していったわけですが、今回は障害者の雇用をどうしていったら良いとか、そのために本人の困りごとや定着していく上での困りごと、それから企業の方でも雇う時に困っていること、それから定着してからの困っていることを洗い出していくということをやってきました。検討のテーマとして市内の就労支援について課題を整理して、ハローワークや庁内の実習などを通して、意見等を出しながら議論を進めて就労を長く継続させるためにということで話し合ってきました。検討結果といたしまして、本人への支援として、まず雇用に向けた支援として、現状と課題について、生

活基盤が整っていない状態で仕事に就いてしまうことがあるとか、学校や就労移行支援事業所等で、仕事に向けて取り組んで、そういう方の場合には、支援を行う教員や事業所の職員との関係性がある程度出来ているが、就労した後に就労支援機関に、例えばみ～なに、そこからどこかに変わるタイミングで、今まで馴染みではなかった人に支援が変更してしまうというようなこともあるということ。また、就労支援機関の人手が足りず、ハローワークなどの同行が出来ず、就労がなかなか決まっていけないこと。府中市や近隣市での雇用募集が少なく、都心の方多くて、遠いところにしかないという現状もあります。その解決策・支援策として、市内の中小企業の雇用促進、また就労支援機関の充実ということが挙げられます。市内の中小企業というのも、大きな企業だと特例子会社等があって、支援者がついて障害者を集めたものが出来るのですが、中小企業だとその中に障害者が1人とか、2人の少人数で健常者の中に混ざってやっていかないとならないので、雇う方も雇われる方もすごく難しさがあるのではないかとということがこの間話し合われている中で見えてきました。定着に向けた支援として、学校や、就労移行支援事業所による就労定着支援のフォローは最大3年間のため、その後は就労支援センターに引き継がれることになるので、しっかりと引き継げるようにしていけると良いということや、学校は異動があり、いざ本人が頼りたくても、その時に頼っていた先生がいなくなっていることがある。また、企業側の現状としては、就労支援機関の人手が足りず、問題の発信のない職場に対しては年に1回も行けていない。逆に問題があって発信してくれるところには行くのですが、何も発信がないけれど、本当は困っていた、でも、発信がないから年に1回も行けずにそのまま煮詰まって、かえって仕事が出来なくなってしまっているということもあります。それから働き続けると仕事を教える立場になってくる。そうすると最初のうちは教えてもらうだけだったのが、周りの人がパートとアルバイトでどんどん辞めてしまっていて、新しい人が入ってきて自分がだんだん古株になっていくというような状況の中で、教えることが出来なかつたりとか、そういった苦しさで続かなくなってしまうというようにステージによって、困りごとが変わってくるという問題もあります。その解決方法としては問題の発信がなくても定期的に職場訪問が出来ると良いですねということや、支援機関が変わった際の引き継ぎを丁寧に行うというようなことは大切だということが話し合われました。高校を卒業する時に職場の方にプロフィールシートというとてもしっかりしたものを作っているが、それが引き継がれていかなかつたりすることもあります。府中市でも自立支援協議会でちゅうファイルというのも作っていただいたので、こういうものも活用出来るかと思いますが、なかなか活用されていないとか、あと厚生労働省から出ている就労パスポートというようなものもあります。このようなツールが引き継がれていくことで、定着していけるのかなということも話し合われました。



それから企業への支援として、先ほども言いましたけれども、大手の企業の場合には特例子会社や就労継続支援A型など障害者を集めることが出来るけれども、中小企業への雇用というのに手厚く支援が必要だということが話し合われました。例えばどのような仕事をお願い出来るのか、それとか仕事の切り出しですね。それとどのように雇用の相談をしたらいいのかわからないというような障害者雇用に関する相談方法の不安というのがあります。解決策としては、企業向けの簡単なわかりやすいリーフレットなどを作ったらいいのかなという意見が出ました。あと昨年度と今年度と府中市や府中市障害者就労支援機関連絡会で雇用相談会が行われていますけれども、移行支援事業所の方とかハローワークの方とか皆さん来ていただいて、就労したい方や就労して困っている方などをグループワークの中でしっかりと話し合われるようなこともありました。その中で就労するためにはこうしたら良いというような意見もすごく具体的に教えていただきました。あと職場体験などで障害者雇用の実態を知ってもらう、やはり体験してもらって初めてわかるというか、言葉だけではなく体験をちょっとしてもらうことで障害者を雇うとはこういうことなのだということを、わかってもらえるような取り組みをしていかなければいけないという話が出ました。例えば職場体験の場所を拡げていくとか、チャレンジ雇用や実習生の受け入れ先の開拓などをしていくということです。定着に向けた支援としては、雇用として仕事の現状と課題というところでは、雇う前もそうですが仕事をしてからでも仕事の切り出しがわからない。また、やってもらえる仕事が見つからないとか、人手が足りないので仕事の切り出しを考える余裕もないというようなこともあります。あと障害者をフォローする人の人手が足りない。あと、障害特性や合理的配慮について、人事担当者や管理職は理解していても、現場の人たちは理解出来ていないというようなこともあります。あと企業から問題の発信がないという問題点があります。その解決策としては、仕事の切り出しの支援をする、これはハローワークなどです。あとは本人の障害特性が分かるようなプロフィールシートを作る、先ほど見て頂いたような就労パスポートとかちゅうファイル、卒業生引き継ぎシートのようなものです。あと、就労支援機関等が職場訪問をして職場の困りごとについて相談をうける、というようなことが考えられます。今年度の協議から見えてきた課題ということで、府中市の障害者が府中市で働くためにという、府中市の障害者が働くということと、府中市のまわりで働くというか、府中市の企業を障害者が働ける企業にしていくという2つの方面から考えていかなければいけないということがわかりました。そして、府中市の就労支援機関の拡充、これは去年もお話させていただいたことですが、これは本当に必要だということが改めて感じられました。そして市内の中小企業の雇用促進を行うことや、定着に向けて「支援者の育成」と「質の維持向上」も求められる。それから府中市にはハローワークがあるので、それ

を強みに医療も含めた「支援の輪」を構築していくことが大切ということが話し合われました。来年度に向けて、実際に中小企業の現場の声を聞きたいという声が挙がりました。むさし府中商工会議所を訪問したいという案が今出ています。府中の商工会議所でどのようなことを聞きたいかということで、雇いたくても雇えない理由は何か、過去の失敗例、雇っている企業の現場の評判、どのような人を求めているのか、制度や障害に関する情報源、その他自由意見などを聞けたら良いという話が出ています。これについては他の皆さんからも他にどのようなことを聞いたら良いのだろうという意見をいただけたらと思っております。その他に来年度に向けて、今回具体的に何という前回のよう数字的なものであるとか、何を作っていくまいやという今回の話し合いではないので、また来年就労のことについてこのようなことをもっと話し合ってもらったら良いのではないかとというようなことも意見をいただけるとありがたいと思います。以上です。

#### ■会長

ありがとうございます。就労支援部会の方は非常に少ない委員の方たちで細かく協議を重ねていただきました。まずはそれについてお礼を申し上げたいと思います。非常に丁寧に課題の整理をしていただいたというふうに思っています。まず質問を伺います。18人中6名の方が委員なので、残りの12人の方は就労支援部会には所属しておられないので、まず質問等々おありかと思いますがいかがでしょうか。かなり丁寧に説明していただいたので、協議された内容は大体頭に入ったかなとは思いますが。

(発言者なし)

#### ■会長

よろしいですか。それでしたら部会長の方から来年度に向けて皆さんから意見を伺いたいというような問いかけもございました。ぜひこのような切り口で考えたら良いのではないかと、自分の周りでは就労についてこのようなことで悩みを持たれているとか、何かありましたら伺いたいと思いますがいかがでしょうか。

#### ■委員

就労支援事業所の実情について心配していることなのですが、中小企業で就労を開拓していく場合に実際に当事者の方をお願いするとかなりいろいろな会社から連絡があったりして、その場に対応していくのが大変だと思うんですね。一人一人でも大変なのにたくさんの人に行くと職員が足りないのではないかと、その辺をとて

も私は心配しているのですが、実態はどのようになっていらっしゃるのでしょうか。

■委員

昨年までも答申で出させていただいたのですが、就労支援センターみ～なについては本当に今は人が足りなくて対応しきれないといえますか、先ほども言ったように問題が挙がってきたところから中心になってきてしまって、それほど何も言っていないところについては年に1回行けたら良いかなというような状況の中で対応が出来ていない状況です。

■委員

やはり課題として、支援する事業所側の充実をどうしたらいいかということも大きな課題だと思います。相手の方が失礼で全く対応してくれないと思うような支援の仕方では、かえって障害の方はいないという方向にもし中小企業が行ってしまうととても残念なことだと思っております。それからもう1点お聞きしたいことがあります。私はこの報告書は全く良いと思っているのですが、関連して質問なのですが、府中市の方で最近非常に障害の方を雇う枠を精神障害や知的障害まで拡げてくださいます、とても嬉しく思っております。府中市において職員として雇った場合に、どのようなケアがされているのかということについて、もし差し支えなければ教えていただきたいです。

■会長

それでは障害者福祉課の方で答えられるものをお持ちでしたら伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。担当ではないので、なかなか難しいかもしれません。

■委員

わかりました。では何かの機会にでもまた教えていただければ、今日はお答えいただかなくても良いと思います。

■事務局

会長に言っていたように、関係部署に確認しまして次回報告をさせていただきます。ただ一般的な職員にもなりますが、新人研修というのはありまして、それが庁内で行われるものと26市で集まって行われる新人の研修、あとは新人に対して1人課内でOJTということで相談ですとか、そういうものを含めて行っております。基本的には課で新人の育成について一致団結して行っていこうということになっておりまして、特段申し訳ないのですが障害者枠という理由で特別なところは

ないのですが、改めて関係部署の方にそういったものを考えているかどうかというのは、次回報告させていただければと思います。

■委員

ありがとうございます。よろしく願いいたします。以上です。

■会長

他に質問はありますか。

■委員

質問といいますか、来年度へ向けてというところで意見にもなってしまうのですが、過去の失敗例というところがあるのですが、逆に成功事例がたくさんあった方が、就労イメージ、こういう方がこういう仕事やっていますという像がたくさんあった方が、これだったらうちも出来そうだと思うのではないかと思いますので、もし過去にそういうまとめをしていたら申し訳ありません。私も記憶がなかったのですが、どちらかというところと成功が沢山、こういう仕事でこういう力が発揮出来ましたという方の情報がたくさんあった方がプラスのイメージではないかと思いましたので、提案でした。

■委員

どうもありがとうございます。成功事例についても集めていきたいと思います。ありがとうございます。

■会長

ポジティブな方ですね。ありがとうございます。他にご質問・ご意見がありましたら伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。委員。

■委員

来年度に向けての前に手を挙げればよかったのですが、障害者就労支援関係機関連絡会との関係がとても強いように感じられたのですが、関係が強く連携をとっていかれた方が良い内容だろうなと思っているのですが、実際にどのような関係でやられているのかを教えてくださいということと、来年度中小企業の現場の声を聞くということを計画されていますが、実際に中小企業でどのくらいの就労実績があるのかなどももしわかっていたら教えてください。

## ■委員

府中には商工会議所がありまして、いろいろな部会に分かれています。府中は雇用率を、達成していないところは少ないみたいです。今日はハローワークの方がいらっしゃっていないのですが、大きいところはもちろん先ほど申し上げたように特例子会社があります。ただ中小企業では一般の人でも人が少ないというか足りないのので、いつでも募集しているところがあります。そういうところも含めていろいろな仕事があるので、雇ってみたいと思うけれどもどうなのかとか、実際には商工会議所の方にハローワークの雇用指導官が説明に伺っているようです。ただそれを聞いた方が雇え、雇えというけれども雇えばそれはそれで会社としての雇用の責任があるから何が出来るかわからないのに雇ってくださいと言われても、会社としては困るという話を聞いているところです。なので、支援機関が支援してくれるなら、支援出来ることを教えてよというようなことを言われたことがあって、それであれば何に困っているのかとか、何がネックで雇いたいと思うけれどもどうやって雇って良いのかわからないという会社もあるような話だったので、まずはそういった全体のニーズを聞いてみましょうということになっています。部会の方々は会議でしか集まらないようなので、商工会議所の事務局の方にこういう話をして委員から何か耳に入っていますかなど、必要に応じてアンケートや、お話を聞く方向で進められると良いですねということで話はしています。それから「府中市障害者就労支援機関連絡会」というのが府中市とみ～な、就労移行支援事業所で開催しています。今、就労移行支援事業所が1番会社に近い立ち位置にあります。それだけではなく就労継続B型だとか、場合によっては生活介護からも就労していく方もいらっしゃるというところでは、今後検討していく中でもっと広く連携をしていく必要があるのではないかと考えています。そこには企業側の代表の方にも今後考えていくためにも調査が必要なのかなと思っています。府中市は就労移行支援事業所も毎年少しずつ増えていまして、現在は7か所ありますが、また8か所目ができる予定があるという状況ですので、どんどん民間、どちらかというと社会福祉法人というよりも民間企業が増えているところですが、それぞれ特色を活かしての支援をなさっています。先々には必要なときにはオブザーバーとしてこの連絡会の方にももちろん出席していただきながら、すすめられるとよいのではないかと考えています。以上です。

## ■会長

ありがとうございました。委員は今の回答でよろしいですか。

■委員

はい。

■会長

他に質問、意見がありましたら伺います。

■委員

部会の中でスローガンのようなものをしっかりと取り組みとして決められていて、目指すべき姿として府中市の障害者が府中市で働くということを1つ掲げていらっしゃるの、すごく部会として目指すべき姿をしっかりと持っているということをおっしゃったのですが、府中市の方が府中市で働くということは、実際に就労を目指している本人にもやはりそういうニーズがかなりあるというふうに思っているものなんでしょうか。やはり地元で、自分の住んでいる場所で仕事をしたいというようなことは就職している方や目指している方にもニーズがある声なんでしょうか。

■委員

就労支援センターの立場としてお答えします。もちろん都内の官公庁に入っている方もいらっしゃるのですが、中には都内に行くとなると府中からは朝1時間半から2時間掛かります。それがすごく負担になったり、障害特性で通勤がとても負担になりいろいろとトラブルが起きてしまう人もいるということで、一旦休職したり、退職したりという方もおられます。その場合、次の仕事を見つけるという時に、通勤時間が負担とならないように、慎重に転職先を一緒に検討します。離職などはすごくご本人にとっても負担が大きく大変なことです。なので、出来るだけ通勤負担がない方がご本人にとっても、すごくメリットが大きいです。最初から満員電車での電車通勤は無理ですという方もおまして、そうすると9時頃には行けないということになると週30時間は難しい方もいらっしゃる、逆に下りの方の立川とか八王子とかを探したりという方もおられますけれど、市内であれば自転車で行けますとか、ちゅうバスだけで行けるならという方が多くいらっしゃいます。決して都内だから働けない方ばかりではありませんが、そこがネックになって朝2時間、帰り1時間30分となると、この3時間半が10日ともなるともう1日以上勤務になるということはかなりエネルギーをとられて、本来的な仕事というところにエネルギーを出せず半減されてしまうところもあるので、そういうニーズが多いです。

■会長

ありがとうございます。蛇足になりますけれども、一昨日の障害者計画の中でア

アンケートの結果が出されていましたが、その就労の項目でもやはり不安になるのが、通勤時間が長いことが負担というようなアンケートの回答が割と高い数字で出ていたように記憶しています。他にございますか。

■委員

今のお話を伺っていると、通勤にあまり負担がかからないように通勤したい。そうすると府中市民は府中市の中の事業所で働くということではなくて、例えば小金井市との境に住んでいるような方は、小金井市に職場があつて自転車で自宅から10分で行ける場合は小金井市の事業所の方が良いのではないかと思います。そういう意味では府中市だけと限定するのはなく、府中市近隣で良いのではないかと思います。

■会長

おそらく実際に職場を探されるときは、そういった半径何キロというような形で探されてはいるだろうと思います。何かコメントがあれば伺います。

■委員

これは極端な話と申しますが、府中市民が府中市の近隣で働けるようになると良いということと、府中市の企業が障害者を多く雇えるようになると良いということとを合わせたものなので、なるべく近くにあれば隣の市などでも働ければ良いというふうに思います。ありがとうございます。

■会長

他に意見・質問があれば伺います。

(発言者なし)

■会長

よろしいでしょうか。では皆様からさまざまなご意見が出ましたので、それを参考に来年度も引き続きよろしく願いいたします。併せてちょうど計画策定に入っておりますので就労の分野について方向性とか、取り組むべき施策の方向性なども併せて提言いただきますと幸いです。よろしく願いいたします。どうもありがとうございました。

### 3. その他

#### ■会長

では続きまして議題の3. その他に入ります。こちらは事務局の方からよろしくお願ひします。

#### ■事務局

事務局から3点連絡させていただきます。まず1点目、次年度の専門部会についてです。各部会から今報告がありました通り2部会とも来年度も継続して行いたいと存じます。今年度と同様で来年度末までに6回の専門部会の開催を予定しております。また先ほどもお話がございましたが、前回の全体会にて相談・くらしの部会から提案がありました、懇話会について、出席いただいた方からも大変好評を得ておりまして、本協議会にとってとても有意義なものとなっておりますので、次年度も引き続き開催を予定したいと考えております。また4月になりますと人事異動で所属などの変更がある方がいらっしゃるかと思います。専門部会のスタートは新しい委員の依頼が済み次第、お願いいたします。なお依頼が完了したタイミングにつきましては市からの連絡をお待ちください。次に2点目、次年度の全体会の予定です。全体会は3回を予定しております。次年度で任期満了となりますので、3月には2年間の協議の内容をまとめまして市長へ答申いたします。令和2年度第1回の全体会の開催につきましては6月から7月上旬を予定しております。また時期が参りましたら案内を差し上げますので、確認をお願いいたします。最後に3点目、今回の議事録についてです。こちらは作成が出来次第、委員の皆様にご連絡させていただきますので、皆様の方で確認いただきますようによろしくお願ひいたします。事務局からの連絡は以上になります。

#### ■会長

ありがとうございました。ただ今ご説明がありましたけれども、令和2年度第1回全体会は6月から7月上旬の開催の予定とのこと。現状でこの日は出席出来ないというのが既に確定されている方は、この後事務局の方に連絡いただきたいと思います。所属先の任期の都合により今年度で変わられる方ももしかしたらいらっしゃるかもしれません。その方につきましては今年度もいろいろとありがとうございました。次回の全体会の時には新しい委員に変わっているかもしれませんけれども、その際には引き継ぎをよろしくお願ひいたします。他に何かこれを言い忘れていたとかありましたら伺います。



## ■委員

昨年の台風19号の時に実際に避難勧告が出て、皆さんたくさんの方が避難をするという事態になったわけですが、一応この協議会の第5期の答申では障害を持つ方が安心して避難出来る場所、福祉避難所の整備が必要であるという答申を出しておられると思いますが、現時点での府中市の防災計画の中には福祉避難所として協定を結んでいただいているところが高齢者の施設では、東京都の方はほぼ全てですけれども障害者施設というところでは1つもないと思います。すみません、その後協定を結ばれたところが出てきていけば良いと思うのですが、府中けやきの森学園ですか。なので、その辺りがなかなか進んでいないのかというふうに思っていてやはり今回例えば、実際に避難すべき地域にいらっしゃった方で避難しなかった方もいます。発達障害をお持ちのお子さんを抱えていらっしゃるお母さんが避難所に行っても知らない人達ばかりで、この子を連れていてもパニックになってどんな目で見られるかと。だからもう堤防が崩れたらもうこの子と一緒に死ぬのよというようなことを言わせている現状がありますし、多摩川の堤防の10メートルぐらいのところに住んでいらっしゃる神経難病の呼吸器を付けている方もいらっしゃって、その方はやはり台風が来るのがわかっていたけれどもどこに行けばいいのか。病院に掛け合ってもそういう理由で来るのは、そんな人がたくさん出てくるからお受け入れできませんというような回答だったので、ようやく避難勧告が出て訪問看護ステーションの方から話を通してもらって、神経病院にいらっしゃいということで一応、行けたのですが、その時には介護タクシーとかは避難勧告の地域には来てくれないので、結局救急車で行ったというようなこともあったので、どこかで、やはり、もう今年もあると思った方が良いでしょうね。地球の温暖化が進んでいますから台風はどんどん強くなるということを考えるとそういった福祉避難所の整備というのがやはり答申を出したけれども進んでいない現状があるので、どのような取り組みが現状されていてなぜ進んでいないのか、そのためには何を解決しなければいけないのかということをごどこかで話し合う場が必要なのではないかと考えていて、この協議会以外のところでそういうことが話し合われている場があればそれはそれで良いのかなと思うのですが、一応、第5期の協議会でそういった答申を出した会でもありますので、他にそういったことがまだ話し合えてないようであれば、現状どうなっているかということをご伺う場を設けなければいけないのかなと思っています。協議会もものすごくそれぞれの部会も沢山の仕事を抱えているのですが、これはなにせ命の問題で最重要課題だと思いますので、そのあたりそんな問題意識を持っているのですが皆さんはどうお考えでしょうか。

## ■会長

各委員の意見を伺った方がよろしいですかね。それについては市役所の方に説明していただいた方がよろしいですかね。

## ■事務局

福祉避難所について、先ほど少し話があったかと思うのですが、府中けやきの森学園と協定は結ばせていただいております。それで特別支援学校はもう1か所あるのですが、協定に向けて協議しております。それでは東京都の施設なので、そちらの方の許可待ちという状況です。ですのでそれが済み次第、2か所目ということになります。それ以外が進んでいない状況で、今後、検討させていただければというのがあります。あと今回は台風19号の影響というのがありまして、これに向けては作業所連絡会と協議を進めさせていただくということで調整中です。その意見を伺いまして、市の立場からとしましては出来るところから進めていきたいと思っております。ただ防災関係というのは市の組織で申し訳ないのですが、防災危機管理課というのがありまして、先ほど委員からもありました高齢者の方は福祉避難所があるというのがありますけれども、高齢者の施設も福祉避難所をどうしていこうかということも含めて、まだ課題が多くありまして、進んでいない状況にあります。その前段としまして、府中市の場合、一次避難所は学校でして、二次避難所が文化センターという形になっています。今回の台風19号ははげ上の開けられるような施設は順次開けていったということもありまして、今回の課題も含めてその辺りの整備が今後されていくものと思っております。今福祉避難所という名前だけがありまして順番的に言いますと一次避難所で一時過ごして、福祉避難所まで開設するのが数日経ってからという形もありまして、なかなか中でも調整がうまく取れていませんのでそういった課題と今回の19号の内容で現場の声をお聞きしながら先ほどの繰り返しになりますが、出来るところから進めていきたいと思っております。以上です。

## ■会長

障害者計画の方でしたか、福祉避難所について確か話題になったと思いますけど、その時の市の答弁が福祉避難所は発災後3日ないし、一週間程度経ってそこの委託先が避難所として機能出来るかどうかを確認した上でないと立ち上がらないというような返答をいただいたというふうに記憶しています。それで、多分地震の時はそういう対応なのでしょうけれども今回のような風水害の時には同じ対応ではないのだろうということを市の方も今回の台風19号で痛感されたというふうに私は個人的には思っております。これ議会でも相当質問が出ていますよね。多分ここで議論

をしても前回の答申のような形でこういうことを考慮されるべきというような答申の範囲までしかまだいかないので、実際にあれを検討するのは防災関係の協議会になっておりますので、そこにどうすれば支援の必要な人に必要な支援が届けられるかということを中心に協議会の場で意見を言えるのかということを中心に1回考えないといけないので、その点につきましては、正副会長と事務局の方で協議して、自立支援協議会としてどういったアプローチが出来るのかということを整理させていただきたいと思います。ただ先ほども申し上げました通り、相当この間の19号ではいろいろなところで問題が顕在化しましたので、少しは進むのではないかというふうに若干の期待はしておりますけれども少々お時間をいただきたいと思います。他によろしいでしょうか。他に何か防災に関してもし意見があれば伺いますが、よろしいですか。今の対応でよろしいですか。

#### ■委員

会長の話でだいたい納得したのですが、一方で委員がおっしゃったようにかつてのこちらの協議会の部会で答申した内容やこれまでに話し合ったことが今経過として、その後どうなっているのかということは既に部会がなくなってしまっているかもしれませんが、協議会として答申したものはあるということ間違いのないわけですので、先ほど事務局が最初に児童発達支援センターや基幹相談支援センターの経過を説明してくださったように、これまでやってきたことがどう動いているのかの経過説明を常にこの協議会の中でも確認していくというのはぜひ続けていただきたいと思いますというのはあります。それによって私達もその都度ではこれだったらこのところまで話し合わなければいけないのではないかというようなことが議論出来ると思いますのでそれは何かそういう仕組みにしていただきたいと思います。

#### ■会長

ありがとうございます。ちゅうファイルも答申を出してからおそらく2年ぐらい経って形になったと思います。今後とも事務局の皆様におかれましては適宜報告をよろしくお願いしたいと思います。

#### ■事務局

委員にご意見いただきまして、先ほど過去の件で委員の皆様からも途中経過になっているものがありましたら適宜言っていただいて、事務局の方としましても、当然ながら答申いただいておりますので、その中で必ずすぐに出来るものばかりではありませんので、進捗状況も含めて報告したいと思いますので、時間が掛かるものは了解いただいて、出来るものから順次やっていきますので、また協力いただければ

と思います。よろしくお願ひいたします。

■会長

ありがとうございました。他に何か意見、質問等ありましたら伺いますが。よろしいでしょうか。

(発言者なし)

■会長

皆様の協力もありまして、だいぶ早いですが、本日の議題は終了いたしました。これで令和元年度第3回の府中市障害者等地域自立支援協議会を終了いたします。どうもありがとうございました。